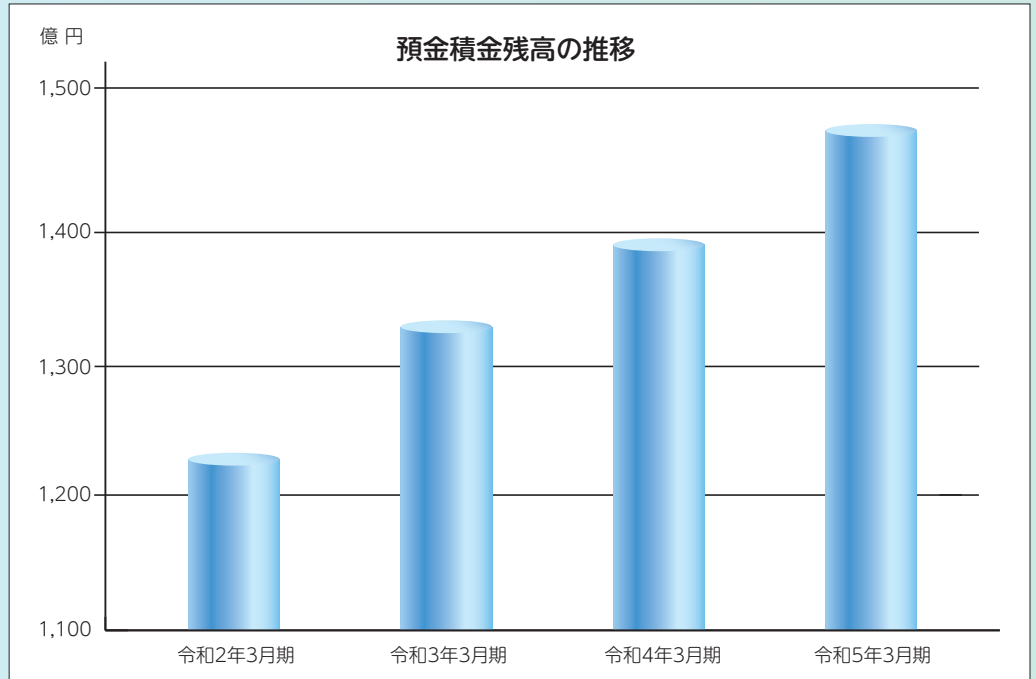


令和4年度の事業概況

令和4年度は第3次経営強化計画の最終年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性向上に向け、役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、お取引先様の資金繰り支援に積極的に取組んだこと等により、貸出金は引き続き増加となるとともに、預金積金についても増加となりました。この結果、金利上昇局面を考慮して債券の購入を抑制したため余資運用収益の減少等はありませんでしたが、資金利益は19百万円増加することができました。加えて、経費の削減に努めたこと等により、「コア業務純益」は329百万円を確保することができました。また、当期純利益は貸倒実績率の良化に伴う貸倒引当金の戻入れや不良貸出資産の償却等の影響により、前期比74百万円増加の273百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

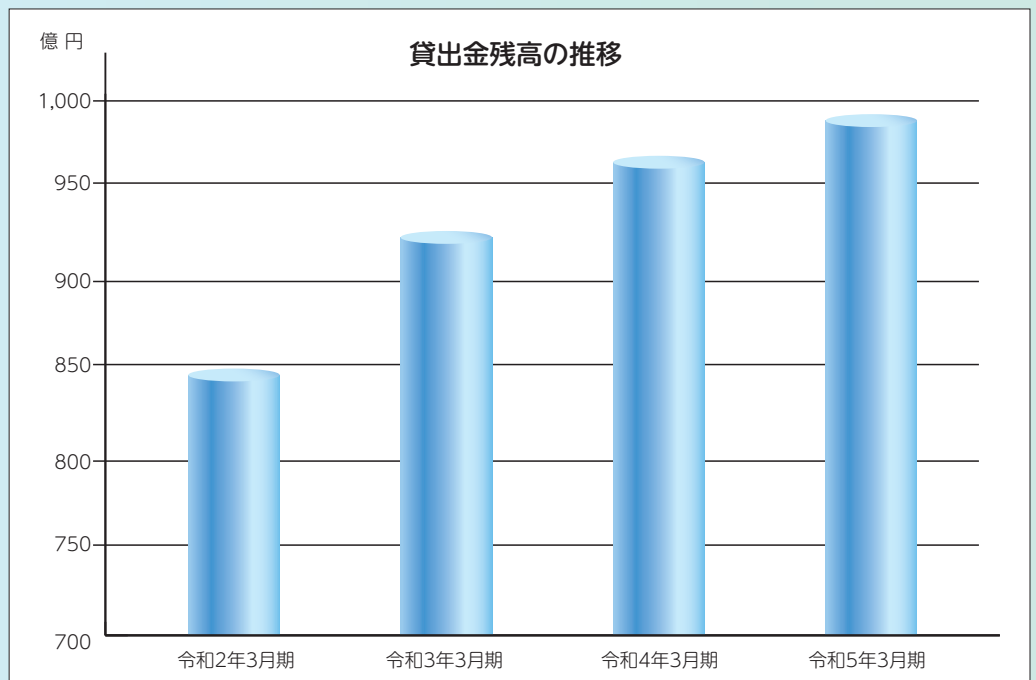
(1) 預金

令和4年度の期末預金残高は、1,469億円と前期末比84億円の増加となりました。



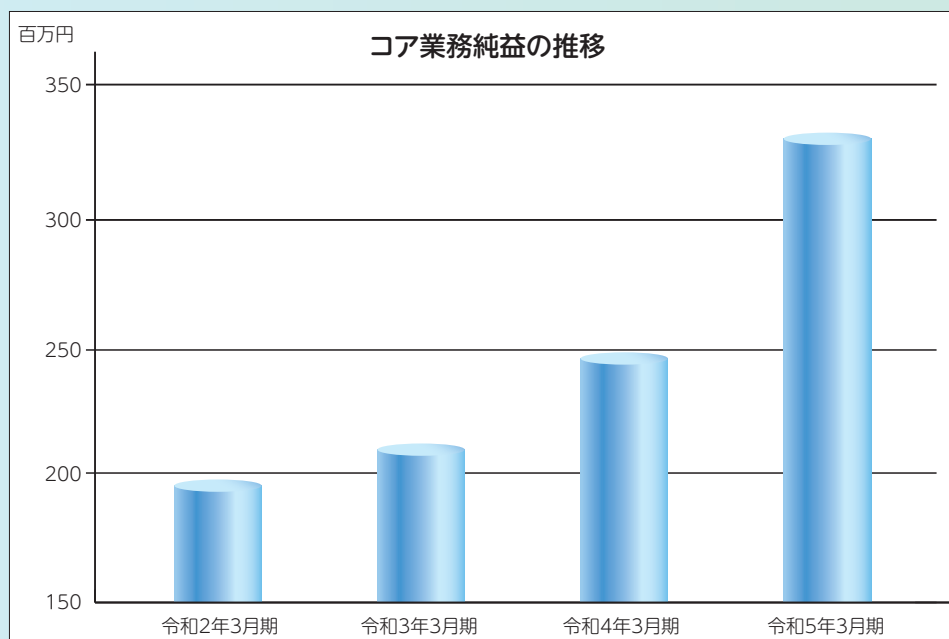
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比22億円増加の985億円となりました。



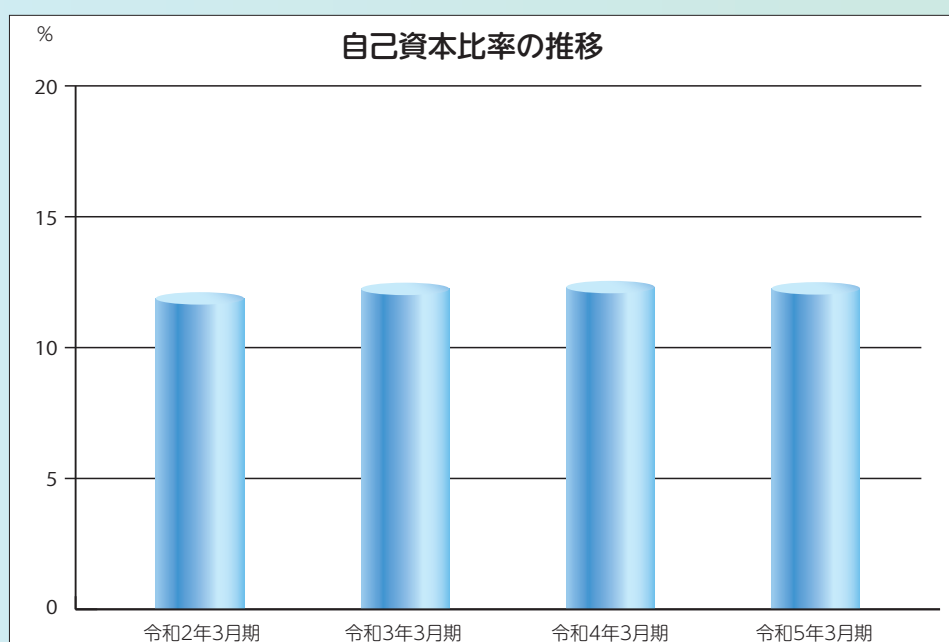
(3) コア業務純益

貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は329百万円を確保することができました。



(4) 自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和5年3月期の自己資本比率は12.26%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
預金積金残高	122,622	132,403	138,521	146,951
出資金残高	8,084	8,086	8,095	8,098
貸出金残高	84,403	92,051	96,271	98,522
有価証券残高	27,821	24,815	21,877	18,740
資金利益	1,615	1,628	1,659	1,678
業務純益	191	151	206	328
コア業務純益	195	209	248	329
当期純利益	263	221	198	273
単体自己資本比率 (%)	11.88	12.24	12.31	12.26